

第 67 回リンダウ・ノーベル賞受賞者会議 参加報告書 兼 アンケート

所属機関・部局・職名: マサチューセッツ工科大学化学科 JSPS 海外特別研究員

氏名: 久保田 浩司

1. ノーベル賞受賞者の講演を聴いて、どのような点が印象的だったか、どのような影響を受けたか、また自身の今後の研究活動にどのように生かしていきたいか。〔全体的な印象と併せて、特に印象に残ったノーベル賞受賞者の具体的な氏名(3名程度)を挙げ、記載してください。〕

【ノーベル賞受賞者の講演の全体的な印象】

今回のリンダウミーティングは「化学」の会であったが、生化学分野の先生が多く、少し偏りすぎている印象を感じました。有機合成や高分子など、いわゆる化学の王道をいく先駆者たちの講演をもう少し聞きたかったです。

[1] Bernard L. Feringa

【印象的だった点】 今回のリンダウミーティング出席者の中の講演で、聴衆の心を最も強くつかんだ発表だったと思います。ノーベル賞受賞者であるにも関わらず、まるで心身気鋭の若手の研究者のような情熱を演壇上で表現なされており、圧倒的でした。

【影響を受けた点、また今後の研究活動に生かしていきたい点】 先生の受賞対象となった研究は「分子マシン」であるが、銅触媒を用いた不斉合成研究も大変有名です。今回の講演を聞いて、ひとつの分野に固執することなく、幅広く興味をもち、チャレンジすることの大切さを学びました。また、先生の講演の中で、「Enjoy the beauty of molecular world」と「Imagine unimaginable things」という言葉が心に残っています。研究者として忘れてはいけない言葉だと思いました。

[2] Richard R. Schrock

【印象的だった点】 講演がとてもわかりやすく、まだまだ現役で活躍されている研究者の発表として純粋に勉強になりました。

【影響を受けた点、また今後の研究活動に生かしていきたい点】 先生の受賞対象となった研究は「メタセシス反応の開発」ですが、講演では現在行っている最先端の話題を提供していただき、ノーベル受賞者であっても新しいフィールドにチャレンジしている姿に感銘を受けました。

[3] Jean-Marie Lehn

【印象的だった点】 超分子研究の第一人者である Lehn 先生の講演を聞いただけで大変貴重な機会でした。印象的だったのは、初学者でもわかりやすいように非常に丁寧に発表されていたことです。想像力がとてつもなく高いのだと思いました。

【影響を受けた点、また今後の研究活動に生かしていきたい点】 先生の発表を聞いて感じたことは、ある現象に対して、「それをどう捉えるか」によって大発見につながるということです。ある現象をどう定義し、どう名前をつけ、どう広げるか、研究者として身につけなければならない能力だと思いました。

2. ノーベル賞受賞者とのディスカッション、インフォーマルな交流(食事、休憩時間やエクスカージョン等での交流)の中で、どのような点が印象的だったか、どのような影響を受けたか、また自身の今後の研究活動にどのように生かしていきたいか。[全体的な印象と併せて、特に印象に残ったノーベル賞受賞者の具体的な氏名(3名程度)を挙げ、記載してください。]

**【ノーベル賞受賞者との交流の全体的な印象】**

まず若手研究者の参加人数に対してノーベル賞受賞者が少ない(若手研究者が多すぎ?)ため、交流する時間があまりありませんでした。日本で行われている HOPE Meeting に参加したことがありますが、そちらのほうが十分深く交流することができ有意義でした。数少ない交流で感じた印象は、どの方も気さくでフラットな関係でお話して頂けたことです。

[1] Bernard L. Feringa

**【印象的だった点】** 積極的に学生や若手研究者との交流をはかっておられ、大変気さくな方でした。

**【影響を受けた点、また今後の研究活動に生かしていきたい点】** 研究内容もトップクラスながら人柄も大変良く、明るく元気でこちらがそのパワーに圧倒されました。研究者として目指すべき人のひとりです。

[2] Ei-ichi Negishi

**【印象的だった点】** こちらの話をまっすぐ目を見て聞いて頂き、誠実さが印象に残っています。

**【影響を受けた点、また今後の研究活動に生かしていきたい点】** 先生の研究分野が自分の分野に近いため、研究に対する考え方やアプローチの仕方など、直接的に役に立つ事をご教授して頂きました。また、今後研究者が解決しなければならない課題なども熱く語られており、大変勉強になりました。

[3] Jean-Pierre Sauvage

**【印象的だった点】** プログラムの時間が過ぎても、丁寧に質問に受け答えをしており、その人柄の良さが印象的でした。

**【影響を受けた点、また今後の研究活動に生かしていきたい点】** 超一流の研究者でありながら超一流の教育者である印象を受けました。自身も研究のみならず教育にも興味があるので、目指したい研究者のひとりです。

3. 諸外国の参加者とのディスカッション、インフォーマルな交流の中で、どのような点が印象的だったか、どのような影響を受けたか、また自身の今後の研究活動にどのように生かしていきたいか。

**【印象的だった点】** アフリカや南米など、発展途上国の若手研究者が多く参加しており、彼らの凄まじい熱意やアクティビティには感銘を受けました。そのハングリー精神からは学ぶことが多くありました。

**【影響を受けた点、また今後の研究活動に生かしていきたい点】** 印象的だった点と重複するが、アフリカや南米など、発展途上国の若手研究者のハングリー精神は研究への熱意や成果に直結する、大事なファクターです。彼らと交流することができて、研究へのモチベーションがさらに高まりました。また彼らから積極的に

共同研究のお話を頂き、このコネクションを通して自身の研究の発展にも繋げていきたいと思えます。

4. 日本からの参加者とのディスカッション、インフォーマルな交流の中で、どのような点が印象的だったか、どのような影響を受けたか、また自身の今後の研究活動にどのように生かしていきたいか。

【印象的だった点】参加者どの方も社交性が高く、積極的に交流している姿が印象的でした。現在私は米国で研究していますが、国際舞台での日本人研究者の存在感の薄さに危機感を持っています。ですが参加者のみなさんのアクティビティをみて、まだまだ日本人もやれるぞ、という確信を持ってました。

【影響を受けた点、また今後の研究活動に生かしていきたい点】日本人参加者のみなさんは分野がそれぞれ異なるのですが、初学者でもわかるように丁寧にそれぞれの研究について熱く語り合いました。将来的に分野横断型の研究にチャレンジしたいと思っていたので、このコネクションを通じて共同研究などに発展できれば、と考えています。

5. 特に良かったと思うリンダウ会議のプログラム(イベント)を3つ挙げ、その理由も記載してください。

1. Panel Discussion 理由: ノーベル賞受賞者の人間性などが垣間見れるため。
2. Science Breakfast 理由: 朝から有意義な時間を過ごすことができた。
3. Boat Trip 理由: 豪華客船で行くエクスカーシオンはなかなか経験できない。

6. その他に、リンダウ会議への参加を通して得られた研究活動におけるメリット[具体的な研究交流の展望がもてた場合にはその予定等を記載してください。]

アフリカや南米など、発展途上国の若手研究者から将来的な共同研究を依頼されたことです。彼らのサイエンスを通して自国を発展させたい思いや日本に追いつき追い越せ、という熱意を感じることができました。彼らにくれたパワーは今後の研究活動に活かしていきたいです。共同研究が実際に実現するかどうかは別として、良い出会いがあったことを嬉しく思います。

7. リンダウ会議への参加を通して得られた上記の成果を今後どのように日本国内に還元できると思うか。

現在私は米国で研究していますが、国際舞台での日本人研究者の存在感の薄さに強い危機感を持っています。それと同時に中国、韓国、シンガポールやインドから来た若手研究者の台頭が凄まじい勢いを持っています。そして今回のリンダウミーティングに参加し、今度はアフリカや南米など、発展途上国の若手研究者のモチベーションの高さに圧倒されました。これは僕の意見ですが、今後日本は科学界や経済界において現状の地位から没落していきたくらうと感じています。将来的に私は日本の大学の教員になりたいと思っています。

ます。この現在の留学やリンダウ会議での経験を通して感じた危機感や、国際舞台で積極的に戦っていく姿勢を学生たちに教えていかなければならないと思っています。

#### **8. 今後、リンダウ会議に参加を希望する者へのアドバイスやメッセージ**

リンダウ会議は、ノーベル賞受賞者との交流がメインとされていますが、それ以上に世界中の異分野若手研究者と濃密に接することのできる機会を提供してくることに価値があると思います。日本を飛び出し、リンダウの美しい街並みの中、世界中の優秀な研究者を相手に胸を張って夢を語り合しましょう。

(以上の記載内容については、氏名と併せて、一部または全部が日本学術振興会 HP に掲載されます。)

リンダウ・ノーベル賞受賞者会議派遣事業  
平成 29 年度 参加者アンケート

今後の事業改善の参考にいたしますので、アンケートにご協力くださるようお願いいたします。

1. 本事業をどのような経緯で知りましたか。(複数回答可)

- JSPS の HP
- JSPS のメールマガジン(JSPS Monthly)
- JSPS からのメールでの案内
- 所属機関からの案内
- 所属学会の HP、メールマガジン
- 日本人研究者からの案内
- 外国人研究者からの案内
- その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )

2. リンダウ・ノーベル賞受賞者会議に参加して、どのような影響がありましたか。(複数回答可)

- 学術的な視野が広がった。
- 通常の国際学会では得られないような助言を受けることができた。
- 国際的な場で研究活動を行いたい、という希望が強まった。
- 将来、大学や学会等でリーダーとして活躍したい、という希望が強まった。
- 共同研究等の持続的な研究交流のパートナーが見つかった。
- 自身を研究者として受け入れる研究室が見つかった。
- web やメールではなく、顔を合わせた議論や交流の重要性を認識した。

3. 他の日本人若手研究者にも本事業への参加を勧めたいと思いますか。

- はい
- いいえ

4. 本事業について改善すべき点や、本事業の認知度を上げるためのアイデアがあれば、具体的にご記入ください。

ノーベル賞受賞者との交流も重要ですが、それ以上に世界中の若手研究者と繋がりが持てるに意味がある会だと感じました。その点をもう少しアピールすると、参加する意義を見出してくれる研究者が多くなると思います。

ご協力ありがとうございました。